

都市ガス事業者初・2回連続の最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ健康経営格付」において

京葉ガス株式会社は、従業員の健康維持・増進を重視し、健康管理を経営課題とした取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行(DBJ/本店:東京都千代田区、代表取締役社長:渡辺一)の格付融資制度「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」(以下「DBJ健康格付」)において、最高ランクの評価を取得しました。



「DBJ健康格付」融資制度は、DBJが開発した独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みに優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという「健康経営格付」の専門手法を導入した、世界初の融資制度です。



【写真】日本政策投資銀行 岸本常務(左)より認定証を授与される、当社社長・羽生(右)=3月6日 京葉ガス本社

今回の格付審査では、主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 従業員が安全で健康に働くための職場環境の実現を目指し、中央および各事業場における安全衛生委員会ならびに「安全衛生推進会議」からなる安全衛生管理体制に基づき、着実に健康経営を推進している点
- (2) 京葉ガス健康保険組合と協働で「みんなで参加健康づくりプラン(みんな健)」を企画し、事業場単位での参画や、工夫ある全社的プログラムの実施など、従業員の積極的な参加に努めている点
- (3) 事業場における治療と職業生活の両立に資する社内規程を整備し、適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行うなど、働きやすい環境整備に取り組んでいる点

当社は2017年に取得した同格付の最高ランク評価を踏まえ、より一層従業員に対する健康配慮の取り組みを推進させたことで上記の評価を受け、2017年に続き最高ランクの格付を2回連続で取得しました。なお、都市ガス事業者による2回連続での最高ランクの格付取得は、当社が初めての事例となります。

当社は「企業にとって従業員の健康は重要な財産である」と考え、今後も積極的に健康維持・増進の施策に取り組んでまいります。